

天水中学校だより

文責：杉野 晃一

R6教育スローガン 夢・笑顔（自律と協働の育成）

「納得解」を求めて、時間いっぱいたくさんの意見が出ました。

11月29日(金)は、体育館で「生徒職員合同会議」及び「生徒会役員認証式」がありました。合同会議は、事前の生徒議会で出された「①生徒会三役・委員会活動への要望」「②校則見直し」「③先生方へお願いしたいこと」のそれぞれについて、谷口さんと齋藤さんの進行のもと、生徒そして先生が思っていることを発言するというものです。私の今までの経験では、このような会議は生徒が質問したり要望したりすることを先生が答える会議というイメージでした。しかし、天水中の合同会議は私のイメージとは違いました。すごかったです。校則見直しにしても賛成の立場の人と反対の立場の人がそれぞれちゃんとして、明確な理由をつけて発言していました。先生たちも一参加者として発言されました。「天水中の生徒のみんなにはこんな力があるんだ！」と改めて感じました。私は、ずっとワクワクが止まりませんでした。そのあとの認証式では、今年大活躍だった旧生徒会三役のみなさんに感謝状を、そして、先月の選挙で選ばれた期待の新生徒会三役のみなさんに認定状をお渡ししました。



北稜高校 園芸科学科の先輩たちと楽しい交流をしました。

12月2日(月)は、北稜高校の園芸科学科から17人の3年生と5人の先生方に来校いただき、1年生が農業体験交流をしました。農業の魅力についての説明を聞いたあと、先輩たちからパンジーの鉢植えを教わりました。天水中の1年生2～3人に1人ずつ高校生が付いてくれました。写真からもうかがえますが、1年生のみんなは、農業体験を通して、北稜高校の園芸科学科の先輩たち一人一人の優しい人柄と交流できて何よりだったなと思いました。



寒い中に、読み聞かせに来校いただき、ありがとうございました。

12月13日(金)は、12月の読み聞かせの日でした。今月は、徳永 真由美 様(1年1組)、神永 美穂 様(1年2組)、尾池 三奈美 様(2年1組)、大保 裕子 様(3年1組)にお越しいただきました。



裏面に続きます。

修学旅行の3日間を通して、「できるようになったこと」

修学旅行の4日前に、私は2年1組で「人づきあい」というテーマでお話する機会をいただきました。そして、生徒たちからたくさんの感想を返してもらいました。『マイナスの言葉』で友達づくりをしたことがあります。でも、それはもろいものだと知りました。「時間がかかるけど『プラスの言葉・プラスの関係』で友達づくりをしていきたいです。」「修学旅行の3日間は、普段あまり話したことがない人に、少しでも『プラスの言葉』をかけてみたいです。」率直かつ正直な内容の返しの感想をいただきました。

そして、12月17日(火)から19日(木)の2泊3日、奈良・京都・大阪に行ってきました。法隆寺・奈良公園・東大寺・大阪城・海遊館に行きました。2日目の京都では、朝8時前から夕方5時まで、男女混合の班での自主研修を楽しみました。普段よく話す人ともあまり話さない人とも、3日間、寝食を共にするという体験をしました。

私はこの3日間、「体調不良の人はいないか。」「どのくらい関わり合えるようになっているか。」の2つのことをさりげなく注視していました。まずは、体調不良者が出なかったこと、これは、何よりありがたかったことです。それから、生徒たちの関わり合いについてですが、この3日間、いろいろな時にお互いに言葉かけをしている場面を見ることができました。普段あまり話していない人と話している場面もたくさん見受けられました。ありがたいことに、私へもたくさんの言葉をかけていただきました。奈良・京都・大阪への観光は、大人になっても行くことができるかもしれません。だから、修学旅行を通して、話しかけられる人が行く前より少しでも増やすこと。このことが、修学旅行の大きな目的の1つだと私は生徒たちの様子を見て感じました。併せて、来年度の天水中のリーダーとして、2年1組のみんながこの3日間での経験を生かしてくれることを期待しています。



天水中学校 HP も随時更新しています。こちらからご覧ください。 →

